

第2回 たくさんの人から刺激を受けて学んだこと

～ 米国クレアモント大学次世代リーダー養成プログラム ～

平成 31 年 3 月 18 日から 25 日の 1 週間、学力向上進学重点校及び同エントリー校の生徒を対象に実施された米国クレアモント大学での次世代リーダー養成プログラムに参加した 2 年近藤さんにお話を伺いました。

参加しようと思ったきっかけは何ですか。

私は、中学校の頃から英語に興味があって、機会があれば留学してみたいという夢を持っていたので、このプログラムができたことを聞いて参加したいなと思いました。英語力に不安はあったのですが、担任の先生や親に背中を押され、勇気を出して参加することにしました。

光陵高校からの参加は 1 人でしたが、不安はありませんでしたか。

アメリカに行く前に、一緒に参加する 36 名のメンバーで集まって、月 1 回の事前研修が 5 回あり、お互いを知り合い、ディスカッションやアクティビティの練習をしたりすることで、出発に向けての心構えというか、気持ちの準備ができました。すぐに友達もできましたし、他校のメンバーのリーダーシップを見て、刺激されたこともあります。決められた研修メニューをただ受け入れるだけでなく、自分たちで考えて、より質の高い研修になるように提案するなど、この段階でもリーダーシップを発揮する人たちを見て、こんな風になりたいなと思いました。とても楽しかったです。

出発する前に準備したことはありますか。

ラジオの英語講座を聞いたり、ボキャブラリーを増やすために、英語の単語を覚えたりしました。耳で聞くことは大事と思い、小学校の時聞いていたラジオの英語講座を再開しました。これは今でも続けています。先生からは、電車から見えたものを英単語にすることや、一日の終わりに、その日にしたことを英文にすること等を薦められました。

出発のときは、どんな気持ちでしたか。

どきどき、わくわくでした。生活面での不安はあったのですが、仲間もいるし、経験豊富な引率の先生方もいたので、安心できる環境だったと思います。

現地ではどんなプログラムだったのですか。

午前中は、GEMセッションというディスカッション、午後はドラッカーのリーダーシップ講座を英語で受けるというのが基本のプログラムでした。一番印象に残ったのは、G

EMセッションで、初めて「グループ活動が楽しい」と思ったことです。今まで私が経験してきたグループ活動は、自分が意見を言わなくても話し合いが進んでしまう感じがありました。でも、ここで経験したセッションは違いました。グループリーダーの大学生たちは、メンバーの発言をサポートしながら、皆が安心して発言できる環境を作っていました。グループのメンバーも、他のメンバーの意見を相づちをうちながら聞くというように、相手の意見を尊重する態度が感じられ、全体がとても話しやすい雰囲気が作られていました。グループリーダーの役割が重要だと思いました。また、現地の高校生とのアクティビティもあり、インタビューやランチをしたり、お別れパーティーで一緒に歌を歌ったり踊ったりしました。

話し合いのテーマはどんなものだったのですか。

毎日異なるテーマでセッションしました。例えば「Growth Mindset vs Fixed Mindset」をテーマにしたときは、自分の気持ちのコントロールの仕方についてディスカッションをして、最後にグループで、紙に英語や絵でまとめて発表しました。その他、問題解決の方法、モチベーションの保ち方、目標達成のための計画の立て方、「新しい歯磨き粉の製品を考えよう」というのもありました。

午後のドラッカーリーダーシップ講座はどうでしたか。

事前研修で、ドラッカーを研究している教授の話を知ったり、「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」も読んでいました。現地では、クレアモント大学で、ドラッカーの研究をしている先生の講義を受けました。「Who is my customer?」というのが印象に残っています。自分の取組みにとっての顧客、つまり主たる対象者がいますが、それ以外の人たちに与える影響をも考慮する必要がある、ということが新たな気づきでした。マネジメントという考え方は、普段の生活や、部活動などでも使える内容です。何かに取り組むときに、道筋を立てたりすることを学ぶことができましたので、これから身の回りのいろいろなことに役立てたいです。

アメリカの大学の様子はどうでしたか。

広々としていて自由で多国籍な感じでした。食堂もきれいで、現地の人と話をしてみようと思って、勇気をもって話しかけてみました。ことばが詰まっても、根気強く聞いてくれて、うれしかったです。黙り込んでしまうよりも、何かを伝えようとするのが大事だとわかりました。

このプログラムに参加して一番の収穫は何でしたか。

リーダーシップを持った人たちと出会い、自分の励みになったことです。私は将来、小学校の先生になりたいと思っていますが、今回経験したGEMセッションスタイルのグル

ープ活動の場を積極的に作り、グループリーダーとメンバーの役割を体感してもらえ
るような場を提供していきたいと思っています。また、アメリカの進んだ教育法も学びたい
と思いましたが、英語についても、もっと学びたいと思いました。

また、メンターさんと接していて、自分の意見をしっかり持っていると感じましたし、
「What do you think?」と聞かれる場面も多くて、私はすぐに答えられないこともあつた
のですが、それは自分の教養が足りないのだと思いました。これからは、自分の引き出し
を増やして、自分の考えを伝えられるようになりたいと思っています。

授業への向き合い方に変化はありましたか。

歴史を含めて日本のことをもっと知って、外国の人に語れるようになりたいと思いま
したし、訪問する国のことを知らない相手の方の失礼になるので、いろいろな国のこ
とをもっと知りたいと思いました。また、英語の授業はとても大事だと再認識しまし
た。こういうフレーズは使えるよと言われたことが、まさに役に立ちました。また、現地で学
んだプレゼンテーションの仕方も活かしたいです。

今年の参加を考えている人へのメッセージをお願いします。

同じような志を持った仲間と、知り合った状態で出発できる
ので安心です。私自身、自分がのびのびとがんばれる環境
をいただけたことは幸せなことだと思っています。一緒に参
加したメンバーとは、交流が続いています。

参加する前は不安があると思いますが、行ってみると好奇
心が勝るので、自然に頑張れます。必ず、実りの多い経験に
なると思います。



今日はどうもありがとうございました。